

県会議員 奥村のり子 の
読者ニュース

2014年3月16日 第122号
—奥村のり子生活相談所—
〒640-8212 和歌山市杉ノ馬場 1-11
☎&FAX 073-427-7121
Eメール w:jcpken@naxnet.or.jp



「JINRIKI」に試乗



11日の福祉環境委員会で、世界初の着脱式車イスの緊急避難装置「JINRIKI」を、県庁議会棟前で試乗しました。これなら少々の段差も軽々と移動できると実感。リヤカー形の緊急避難車みたいなものですね。引いているのは奥村のり子です。



3月11日で東日本大震災と福島原発事故から三年経過しました。9日に行なわれた「フクシマを忘れない!」3・9アクション」集会に私も参加しました。福島からの発言では本場に復興が進んでいないことがわかりました。真つ黒な津波が人々の命と日常生活を丸ごと飲み込んでい

予算総括
質疑で

市駅前活性化、介護改悪、
高校新卒未就職問題など訴え

く光景が忘れません。未だに原発事故の原因がわからず被災者支援が全く不十分であること。このような中でさらに消費税増税と社会保障の改悪で追い討ちをかける悪政の津波!本場に怒りでいっぱいです。悪政の津波は厳しい県民の暮らしにも襲いかかっています。

10日の予算特別委員会では、被災者の皆さんの思いに重ね合わせながら、県民の暮らしを守る防波堤の役割を果たせるよう総括質疑に立ちました。身近な問題である南海市駅の高島屋閉店に関わって、街なかの活性化や介護保険の改悪問題、高校新卒生の未就職問題について答弁を求めました。

県は、市駅前の再開発について積極的に市へ提案して行くこと、介護保険の「改正」で利用者困らないよう市町村にしっかりと助言する。高校新卒未就職対策は基金を活用して県で働けるようになっていたが、新年度から基金の活用ができなくなり民間事業者の協力を得て対策を行なうて行く、と答弁しました。予算案全体の反対討論の内容は次週でお伝えします。(のり子)



「3.9アクション」に1200人

原発ゼロ大統一行動に連帯する和歌山3・9アクションに市民ら1200人が参加。奥村のり子県議(右端)と加藤なおと県議予定候補(左端)や南畑幸代市議(左から2人目)ら

県議2、市議6議席へ
予定候補決まる

日本共産党は昨年の東京都議選、参院選で大きく議席を伸ばし、「第3の躍進」の始まりとなりました。この流れを本格的にするため来春のいっせい地方選では和歌山市で県議2議席、市議6議席めざします。どちらも「1議席増」という目標であり、早くから全力で取り組むため予定候補を決めました。県議は奥村のり子さんと新人の加藤なおとさん。市議は南畑幸代さん、森下佐知子さん、姫田高宏さん、松坂美知子さんの4現職に新人の中村朝人さん、引退する渡辺さんの後を継ぐ坂口多美子さんです。37万市民の暮らしの守り手として先頭に立ってがんばります。

—前号「リレートーク」欄の訂正—
下段右から10行目、「市駅前にも二千人の集客があったり」を、「エモンにも一日で二千人の来客があったり」と訂正します。また左から13行目、「8%となれば」から以下を、「ますます厳しくなる。客足の減少が廃業の一番大きな理由だ」と訂正します。
関係者と読者のみなさんにお詫びし訂正します。

党市議会議員
渡辺 忠広



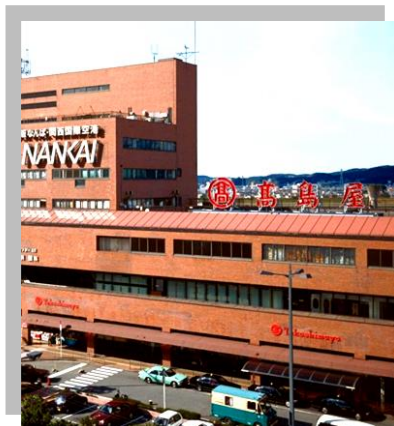
同時に高島屋閉店に伴い「買い物難民」となる交通手段を持たないお年寄り、障害者を含め、日常生活が困

坂口多美子さんへ議席を
バトンタッチします

私ごとですが、私は今期限りで市議会議員を引退し、坂口たみ子さんにバトンタッチすることとなりました。坂口さんは次号のリレートークで初登場される予定です。議席の継続・獲得へ私に頂きましたご支援を、来春は坂口さんへよろしく心よりお願い申し上げます。

2月議会で
高島屋の閉店問題を
質しました

2月議会では、突然、高島屋百貨店の閉店が発表された南海電鉄和歌山市駅の今後の「街作り」について、市の対応を質しました。



高島屋の外観

市駅周辺の商店街はその多くが活気を失っています。拍車を掛けるように高島屋の閉店(8月末)、数十年多くの市民に愛され続けた喫茶店「エモン」も今月末閉店となります。市議会ではJR和歌山駅東口のように「土地区画整理事業」を展開し、市駅周辺は博物館、図書館などの公施設と交通の利便性を生かした、「街並み復興計画」の立案を提案しました。

和歌山市はこれまで15年間を要して「中心市街地活性化」施策を多額の税金を投資し進めてきましたが、市長は「投資効果は出ていない」、「活性化にはつながらっていない」などと答弁するに至っています。

